

林 芳正 農林水産大臣に聞く

「食と農のおもてなし」で 地方創生へ

聞き手 フリーアナウンサー 新井麻希さん

オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、訪日外国人旅行者数はさらなる増加が見込まれています。このインバウンド（訪日旅行）需要の増大をいかに地方に取り込み、農山漁村の活性化につなげていくのか。その戦略を、林 芳正 農林水産大臣に聞きました。

ル分の少ない軟水が豊富です。軟水はうまみのもとであるだしをとるのに適しているため、うまみ文化が発達しました。また、温暖湿润な気候が育んだ日本独特のカビを活用して、みそやしょうゆなどが生まれました。これが発酵文化です。これらが組み合わせられて、日本独特の食文化が生まれました。

新井 食をテーマにイタリア・ミラノで行われている「ミラノ国際博覧会（ミラノ万博）」でも、日本館は大人気だとか。

大臣 日本館では「うまみ」を使ったおいしくてヘルシーな日本食を積極的にアピールしています。私もオリーブニングイベント（5月4日）と「ジャパンデー」のレセプション（7月11日）に出席するために二度行きましたが、日本館の出来が非常にいいんです。来場者数は8月12日に早くも100万人を突破するなど、一番の人気パビリオンになりました。各パビリオンの入場者に対して行う「その国に行きたくなったか」というアンケートでも、日本は1位です。

ユネスコ無形文化遺産登録を「ホップ」、ミラ



“インバウンド需要に対応した 受け入れ体制を構築”

新井 来日した外国人に日本食を安心して楽しんでもらうための取り組みも進めているそうですね。

大臣 飲食店でのインバウンドへの取り組みとして、言葉や食習慣の違いに対応できる体制を作っていく必要があると考えています。そのために、観光庁や関係団体と連携しつつ、今年度から国内の飲食施設や宿泊施設を対象にした講習会を開催し、啓蒙活動を行います。また、イスラム教の戒律に対応した食事やベジタリアンの方向けのメニューを備えた飲食店の増

ノ万博を「ステップ」、さらに20年のオリンピック・パラリンピック東京大会を「ジャンプ」と位置付け、「FBI戦略（※）」に基づいた日本食の魅力発信、農林水産物・食品の輸出拡大を一体的に推進していきます。

※注：食市場獲得のために農林水産省が打ち出した取り組み。世界の料理界で日本食材の活用を推進する「Made From Japan」、日本の食文化や食産物を海外展開する「Made by Japan」、日本の農林水産物・食品の輸出を促進する「Made in Japan」の3つを指す。

**外国人旅行者に日本食を
楽しんでもらうために**

“輸出を伸ばしてインバウンド需要 の増大につなげていく”

**日本食の魅力発信と
輸出促進を一体的に**

新井（敬称略、以下同）最近、街を歩いていても外国人の方がすごく増えていると感じるのですが、訪日外国人旅行者の数はどのくらいになっているのですか。

大臣 昨年は約1300万人で、今年は1700〜1800万人くらいになりそうです。2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会までに2000万人という目標なのですが、前倒しで達成できるのではと思っています。

新井 日本経済にも大きな追い風になりますね。

大臣 特に日本食の関連産業にとって大きな追い風となりそうです。外国人旅行者に「日本に行つて何がしたい？」というアンケートをとると、1位が飲食なんです。

新井 観光やショッピングよりも飲食が上なんです。ね！日本食への関心の高さが感じられます。

大臣 実際、外国人旅行者の食関連の消費額は年間約6000億円に増え、20年までに1兆円程度に

なることが期待されています。

新井 農林水産省として、どんな取り組みを行っていますか。

大臣 輸出の促進に力を入れています。12年に4497億円だった農林水産物・食品の輸出額は、14年には6117億円、今年は7000億円程度となる見込みで、こちらも20年に1兆円という目標を前倒しで実現する可能性がります。輸出を伸ばすことで、インバウンド（訪日旅行）需要の増大につなげていきたいですね。

新井 13年に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことも大きな契機になりましたね。

大臣 JETRO（日本貿易振興機構）がさまざまな国の人に「好きな外国料理について」というアンケートを実施しているのですが、「日本食」が1位をとることが多くなりました。

日本食のベースには「うまみ文化」「発酵文化」があって、実は日本の自然環境と深い関わりがあるんですよ。日本は山が高く川が短い急しゅんな地形なので地下水の滞留時間が短く、ミネラ



ミラノ万博「ジャパンデー」レセプションでスピーチする林大臣。日本館の来場者数は8月12日に早くも100万人を突破し、大盛況

